

〈第9回外邦圖研究會〉

清末から日本統治初期の台湾 関する地図

魏徳文 主講

1

1684年、台湾が清国の版図に組み込まれる

- (1) 福建水師提督の施琅（1621－1696）率いる清国軍が1683年に台湾の鄭克塽を破る。
- (2) 1684年、台湾は清国の版図に組み込まれる。以降1895年まで212年の統治を受ける。
- (3) 1689年（康熙28年）、清国とロシア間で領土紛争が起こり、ネルチンスク条約締結。宣教師による土地測量が行なわれる。

2

康熙帝がイエズス会宣教師に測量を命じる 〈皇輿全覽圖〉

1	1708年先測北直隸省
2	1709-1710年測東北
3	1711年分兩隊：山東與長城到新疆及蒙古
4	1712年測河南，江浙與福建
5	1713年測江西與兩廣，另雲南、貴州、四川
6	1715年再去雲南、貴州、湖南、湖北
7	1717年由喇嘛入西藏，測出聖母峰，任務完成回北京

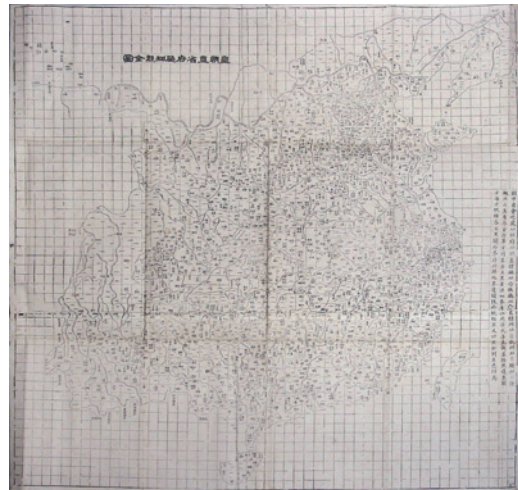


図2.1
〈皇朝直省府縣圖〉，1863，
計里畫方



図2.2
L'Empire de la
China, 1780，
Paris，經緯度

3

〈福建省圖－台湾〉地圖の測量

- (1) 1714年、宣教師の馮秉正 (De Mailla)、雷孝思 (Regis)、德瑪諾 (Hindere) の三名が廈門（アモイ）から台湾へ渡航。
- (2) 4月18日から5月20日までの33日間で清国統治下の台湾の経緯度7地点を測量。



图 3.1 De Mailla, 《康熙命令測繪福爾摩沙島圖》, 1715, 書信集

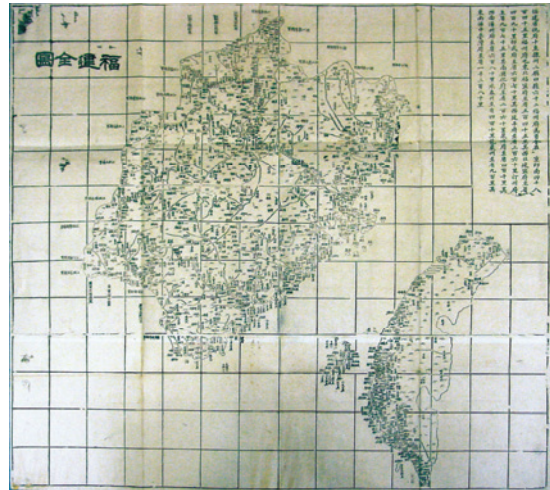


图 3.2 清刊行《福建省圖》, 1863, 計里畫方



图 3.3 J.B. du Halde, *Province de Fo-Kien*, 1735, 風水思想地圖



图 3.4 N. Bellin, *Isle Formose*, 1730

4

19世紀中葉台灣開港前の地圖

- ・ イギリスが清国との茶葉貿易で生まれた輸入超過を調整するべく、インドで栽培させたアヘンを清国に密輸出。
- ・ 林則徐がアヘンを厳しく取り締まり、イギリスが戦火を開く。
- ・ 1842年、南京条約締結。五港を開港。



图 4.1 J. de la Roche-Poncie, 《中華沿海-福爾摩沙海峽圖》, 1853



図4.2 Ackerman, 〈福爾摩沙島図〉, 1856, アメリカによる最初の台湾地図

(4) 1854年, アメリカ海軍提督ペリーが日本を開国させる。

(5) 基隆港と台湾全島の測量が行なわれる。

(6) 台湾に寄港した際、基隆周辺の炭坑の調査を実施。

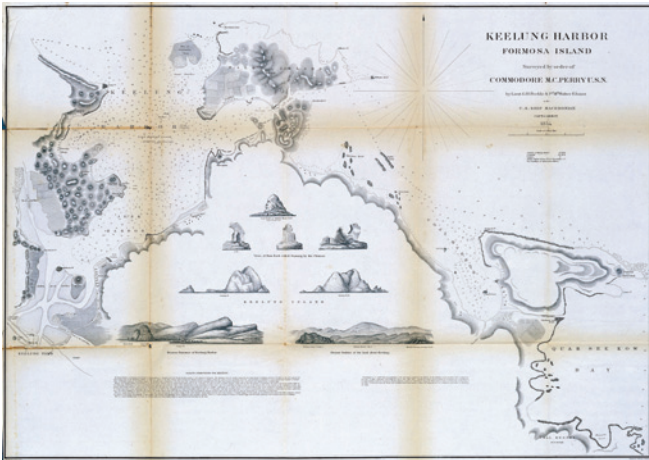


図4.3 C. Jones, 〈福爾摩沙離港図〉, 1855

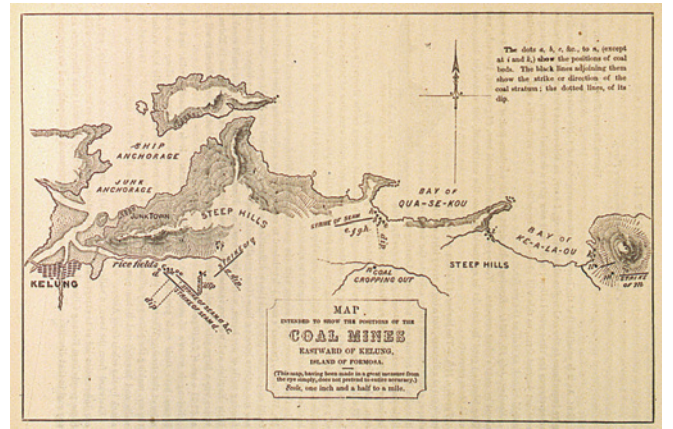


図4.4 C. Jones, 〈福爾摩沙離港東方石炭礦分布図〉, 1856

5

19世紀中葉の台湾開港後の地図

- (1) 天津条約によって台湾の港湾が開かれる。
- (2) 米国領事リゼンドル (Le Gendre) が1866-1872年、駐アモイアメリカ領事を務める。
- (3) ローバー号事件。琅王番頭目Tokitokiとの談判。1867年ローバー号が台湾南端部恒春半島亀仔角付近に漂着。乗組員が殺害される。ラジェンドラとピッカリングがパイワン族18集落の総頭目であるTokitokiと談判。
- (4) 政府による管理の行き届かない土地という判断から、アメリカは台湾東部への進出を画策。



8.4 李仙得與瑞德



図5.1 1867年、アメリカ戦艦Ashuelton号が琅(王爺)に報復



図5.2 Swinhoe, 〈福爾摩沙島地図〉, 1864

之姓嶋琴 圖港國 6 八瑤湾漂着後の関する地図

- (1) 八瑤湾漂着とその後の出兵。1871(明治4)年12月、琉球の貢納船が八瑤湾に漂着。54名の人士が高士佛集落の先住民によって斬殺される。外務卿副島種臣は清国と交渉。1873年、リゼンドルは外務省顧問となり、「化外之地」という清国の発言に基づき、出兵を提言。
- (2) リゼンドルの東亞文明灣, リゼンドルは「東亞文明灣」を近代アジアの主軸とする。



図6.1 リゼンドル〈中華福爾摩沙與漁翁島〉, 1870

之姓嶋琴 圖港國 3 「關鍵台湾命脈的一張地図」, 日本はリゼンドルを台湾方面のキーパーソンとして外務省准二等官とし、後に顧問に。リゼンドルは南北にのびる「番界線」を境に非清国領ととらえた。十九世紀の台湾にとって最も深い関わりをもった西洋人となった。

- (4) 牡丹社事件前の台湾関する地図, 琉球船遭難事件の発生後、樺山資紀少佐司令官は三度にわたって台湾を視察。台湾出兵にも従軍。



図6.2 リゼンドル〈台湾南部生番地図〉, 1872, 内閣文庫



图6.3a 《台湾西南部屬清地》(台湾は清国領となっている), 年代不明



图6.3b 《台湾西南部屬清地》(台湾は清国領となっている), 年代不明

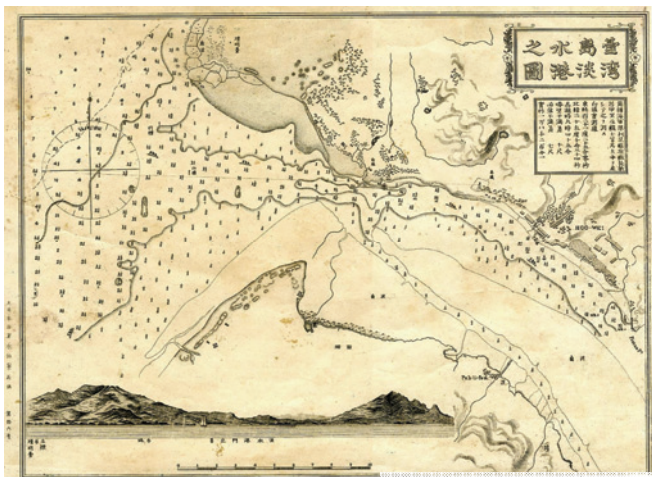


图6.4 《台湾島淡水港口之圖》, 1873



图6.5 《台湾國姓港之圖》, 1873, イギリスからの翻訳版, 1855, 測量海図



图6.6 《台湾島多口港之圖》, 1873, イギリスからの翻訳版, 1865



图6.7 《台湾島噶之圖》, 1873

7

台湾出兵—牡丹社事件

- (1) 西郷従道が遠征軍の総司令官。1874年4月に3658人の兵士を率いて出征。
- (2) 死亡者総数は561人。12名が戦死者で、その他は熱帯病による病死。大久保全権弁理大臣は清国と協議。
- (3) 清国の賠償金は50万両（テール）。軍隊は12月に撤収。日本は10倍の戦費を得たが、死亡者数は漂着して殺害された人々の10倍を数えた。
- (4) 樺山資紀少佐はこの交渉結果に失望感を抱いた。



图7.1 L. Imhauet-Huart, 日軍(王喬)進入牡丹社, 1893



图7.2 《台湾全島圖》, 自《台湾軍記》, 1874



图7.3 《恆春半島精測地圖》, 1874

LE NORD DE FORMOSE

8

清仏戦争、台湾戦役時の近代地図

1858年、フランス軍は安南（ベトナム北部）へ進出。清国との戦火は一〇数年におよび、福州や台湾まで飛び火した。1884年8月、フランスは台湾の基隆および淡水を攻略したが撃退される。しかし、翌年に澎湖を占領。4月6日に両国間で協議が行なわれ、澎湖からは撤収。

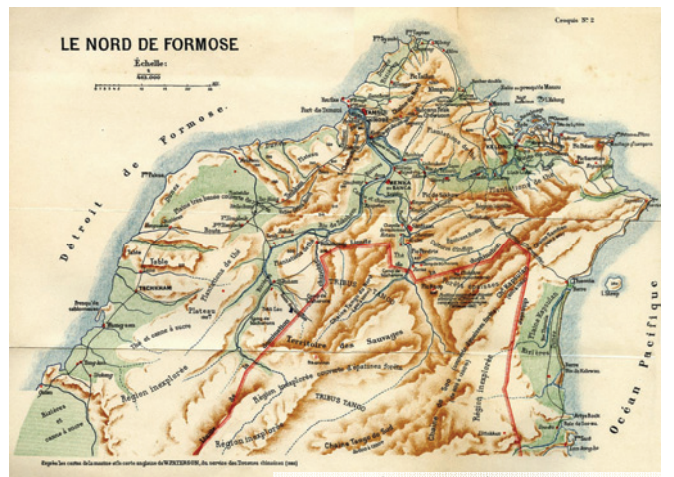


图8.1 卡諾特《北福爾摩沙地圖》, 1/46.3万, 1884測量



图8.2
卡諾特〈基隆港口
圖〉, 1/1万, 1884
測量

9

日本領台直前に関する地図

1895年4月17日に下関（馬關）条約締結。台湾および澎湖が日本に割譲される。

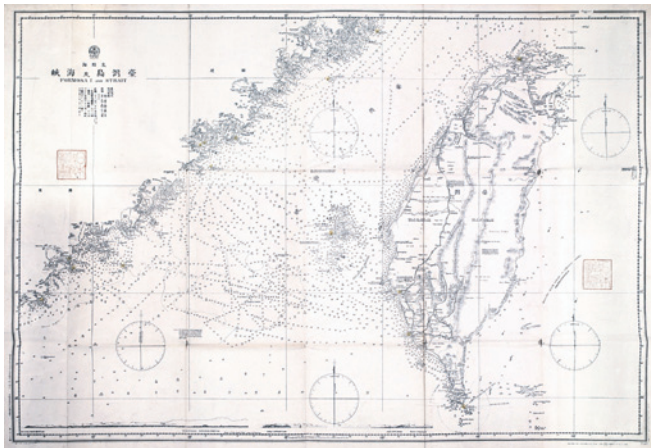


图9.1 〈台湾島及海峡〉, 1894, 内閣文庫

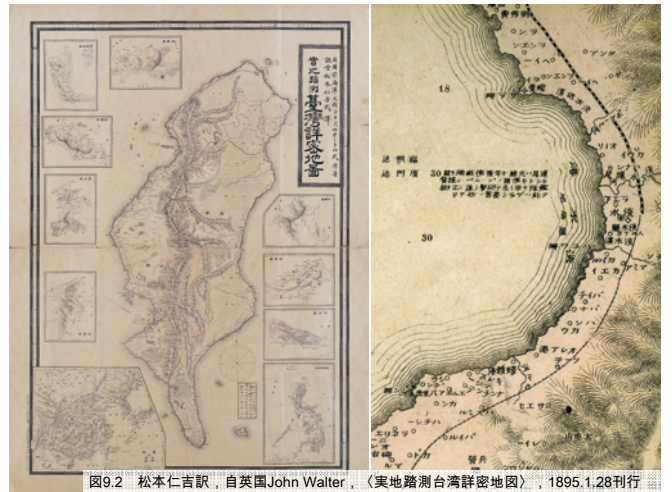


图9.2 松本仁吉訳, 自英国John Walter, 〈実地踏測台湾詳密地図〉, 1895.1.28刊行



图9.3
山吉盛義編, 〈台
湾諸島全圖〉,
1/180万, 1895.4.20
初版



图9.4
陸地測量部編, 〈台
湾島全圖〉, 1/150
万, 1894.12刊行

部領新本日大國帝

臺灣地圖

10

領台直後に刊行された台湾地図

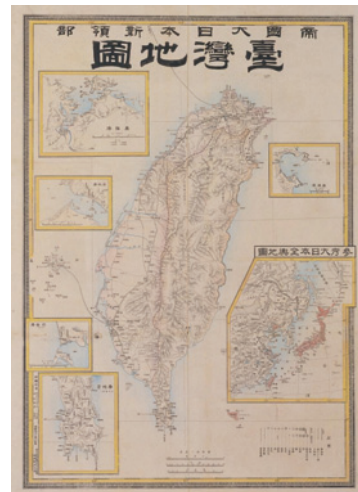


図10.1
嵯峨野彦太郎、〈帝國大日本新領部-台湾地図〉、1/100万、1895.8



図10.2
長峰和兵衛、〈大日本帝國台湾新圖〉、1/100万、1895.11



図10.3
後藤常太郎、〈台湾詳密地圖〉、1/75万、1898.4



図10.4
台湾總督府製図部、〈台北、大稻埕、蘆洲略圖〉1/4千、1895.8.10測量

11

日本軍上陸時の迅速測量

1895年5月29日、日本軍が鹽寮に上陸。大縮尺の地形図を使用。

『日清戦史』地圖一覽表

比率尺	圖名	枚数
1/1萬	蕭壩街	1
1/2萬	瑞芳附近／安平鎮庄／新竹附近／大角湧及大料坎／大料坎附近／龍潭坡／橫坑仔附近／溝倍庄／彰化附近／樹仔腳庄附近／大莆林附近／斗六街附近／嘉義／杜仔頭附近／鐵線橋附近／基隆附近賊軍之配置圖	16
1/5萬	三貂灣上陸位置圖／基隆附近／蚵寮附近／第2師團枋寮附近上陸圖／曾文溪	5
1/20萬	近衛師團諸部隊之位置圖 (M28.9.22)／混成第4旅團之位置圖	2
1/30萬	台灣北部作戰地一覽圖／台灣南部作戰地一覽圖	2
1/40萬	台灣總督府指揮下諸部隊之位置圖 (M28.7.11)／台灣總督府指揮下諸部隊之位置圖 (M28.8.5)／台灣總督府指揮下諸部隊之位置圖	3
1/50萬	台灣北部守備配置	1



图11.1
陸地測量部臨時測図部，〈近衛師團三貂灣上陸諸部隊之位置圖〉，1/5萬，1895測得



图11.2
陸地測量部臨時測図部，〈基隆附近之戰圖〉，1/5萬，1895.6.3測得

12

日本統治時代初期の迅速測図および編輯図

2万分1迅速測圖

地域名	測量年	製版年	面数	備考
基隆要塞近傍	明治28・29年	明治29年	8	旧基隆西方を含む
基隆南部近傍	明治29年製図	明治29年	4	
台北東部近傍	明治28年	明治29年	3	
台北東方近傍	明治28年		1	
台北近傍	明治28年	明治28年	2	
台北南方近傍	明治28・29年	明治29年	2	

地域名	測量年	製版年	面数	備考
淡水予定要塞近傍		明治29年	5	
宜蘭近傍			9	旧淡水北方・淡水西方
蘇澳近傍	明治28年	明治29年	2	
彰化近傍	明治28年	明治29年	1	
台灣近傍	明治28年	明治29年	2	台中
台南及安平近傍	明治28年	明治29年	2	
打狗予定要塞近傍	明治28・29年	明治29年	3	鳳山
牛欄坑近傍			6	東勢角東方
澎湖鳴要塞近傍			21	
淡水予定要塞近傍			7	明治34年以前測量
台北予定要塞近傍			12	明治34年以前測量
基隆要塞近傍			11	明治34年以前測量



图12.2
陸地測量部臨時測図部，〈台灣[1/2萬]地形圖 - 台北〉，迅速測図，1895測量



图12.3a 陸地測量部臨時測圖部，〈台湾[1/2万]地形圖-台北〉，迅速測圖，1895測量



图12.3b 陸地測量部臨時測圖部，〈台湾[1/2万]地形圖-台北〉，迅速測圖，1895測量

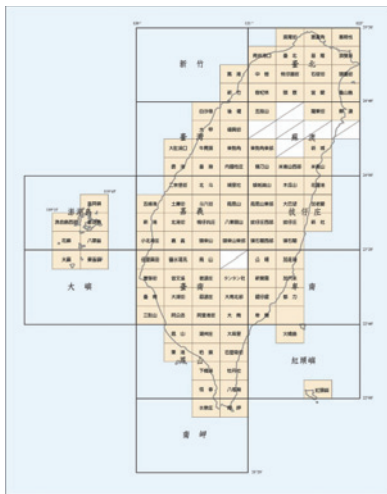


图12.4 〈台湾[1/5万]地形圖〉範圍圖一覽表，共103幅



图12.5 陸地測量部臨時測圖部，〈台湾[1/5万]地形圖-台南〉，1895測圖

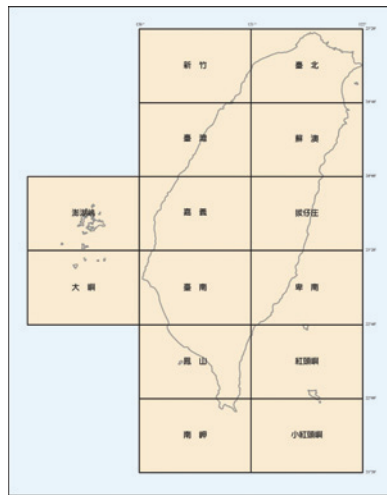


图12.6 〈台湾[1/20万]輯製地形圖〉，範圍圖一覽表



图12.6 台湾總督對民政部殖產課，〈台湾嶋嶼地形圖〉，1/40万，1900

結語—まとめ

1. 清国時代の地図は計理画法によるもので、地形や地勢への追究は乏しい。
2. 欧米諸国や日本の近代地図によって清国版図の地形や地理は知ることができた。
3. 近代国家はいずれも近代測量によって地図を製作してきた。そして、地図は国土の統治に寄与し、同時にその土地に暮らす人々を治めることにも寄与してきた。